

【特集の最後に】

「不妊・去勢手術」を考えてみる。

—あなたはペットに不妊・去勢手術することが不憫な行為だと思いますか？—

あくまで「する・しない」については、飼い主さんが決めることなんです。

犬

がかわいそうだから不妊手術はさせません。ある飼い主さんが、獣医師に不妊手術を勧められたとき、こう言ったそうです。

不妊手術をするには、病院に入院しないとなりませんから、確かにかわいそうなことかもしれません。また、子どもが産めない体になってしまうことに不憫さを感じる飼い主さんも多いことと思われます。

しかしこの先、そのペットが健康で楽しく、周りの人に迷惑をかけずに暮らしていくために「不妊手術・去勢手術」が必要なものもあるのです。

ただ「かわいそうだから」と決めつけずに、まずはペットにとってどんな将来が一番良いのかを考えてみましょう。

き

ちんとしたブリーディング（繁殖）の知識を持って繁殖させるならば何も問題はありません。でも、なんの知識もなく、単に「うちの犬はかわいいから増やしたい」という増やしてしまうことほど危険なことはありません。

動物は一度の出産で何匹もの子を産みます。あなたは、そのすべての子を飼い続けることができますか。または、すべての子に里親を見つけてあげることができるでしょうか。

例えば、先天性の病気を持ったメスが出産した場合、生まれた子にその病気が遺伝してしまう可能性だってあります。

またメス自身も、出産に伴う体力の低下で命を落としてしまう危険もあります。

そして、繁殖させるつもりもないのに「不妊・去勢手術」をさせないのは、もったいなく残虐なことです。発情期を迎えても、ただじっと我慢するしかないのですから、ペットにとっては大きなストレスになってしまいます。発情期を迎えたオスが、メスを見つけて思わず飛びかかってしまうという危険もあります。

不妊や去勢をすることで防げる病気もあります。特に生殖器官の病気はかなり高い確率で防ぐことができます。メスなら、乳腺腫瘍や子宮蓄膿症、オスなら前立腺肥大や精巣ガンなどがそれにあたります。手術によって、それらの病気を未然に防ぐことができるということも知っておいてください。

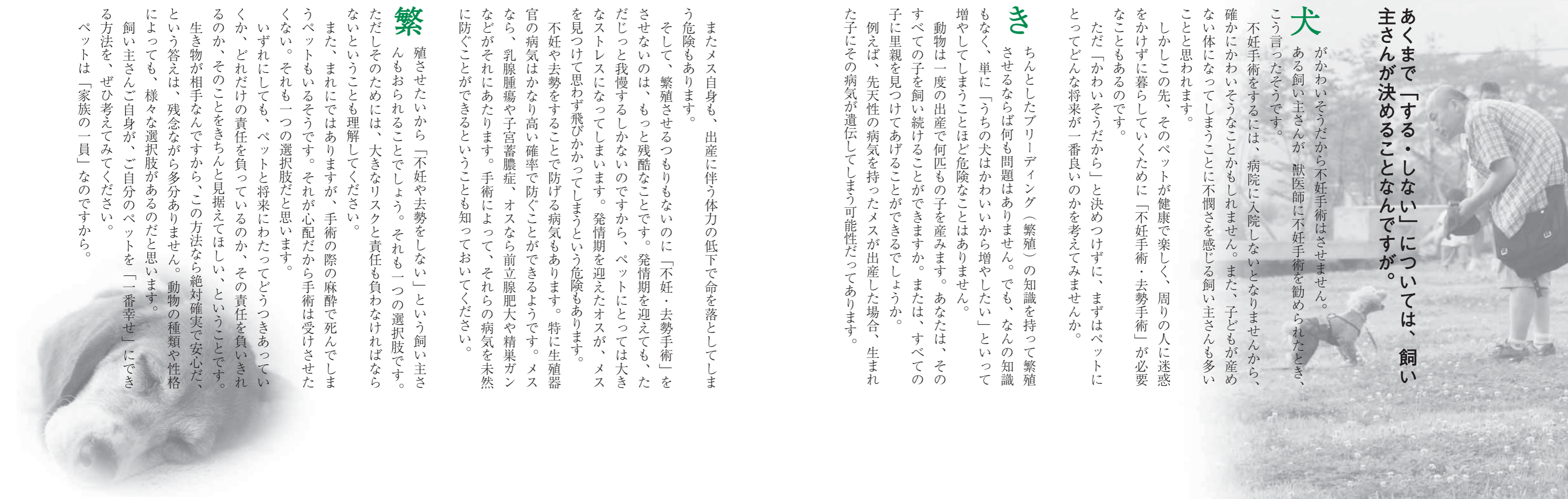
繁

殖させたいから「不妊や去勢をしない」という飼い主さんもおられることでしょう。それも一つの選択肢です。ただしそのためには、大きなリスクと責任も負わなければなりません。ということも理解してください。

また、まれにはありますが、手術の際の麻酔で死んでしまうペットもいるそうです。それが心配だから手術は受けさせたくない。それも一つの選択肢だと思います。

いずれにしても、ペットと将来にわたってどうつきあっているのか、どれだけ責任を負っているのか、その責任を負いきれるのか、そのことをきちんと見据えてほしい、ということ。生き物が相手なんです。この方法なら絶対確実に安心、という答えは、残念ながら多分ありません。動物の種類や性格によっても、様々な選択肢があるのだと思います。

飼い主さんご自身が、ご自分のペットを「一番幸せ」にできる方法を、ぜひ考えてみてください。ペットは「家族の一員」なのです。



不妊・去勢手術の基礎知識（参考）

手術はどのようにやるの？

不妊手術は全身麻酔により卵巣および子宮を摘出します。手術時間は約1〜2時間です。去勢手術は同じく全身麻酔により辜丸を摘出します。

費用はどのくらい？

去勢手術は犬猫とも2〜5万円くらいが一般的です。不妊手術は開腹手術となりますので、去勢手術と比べて手術費用・入院費用は高くなります。

手術に適した時期は？

去勢も去勢も、初回発情期（生後6〜7カ月）が目安ですが、病院によっては、より早期の手術を推奨する場合もあります。

手術の危険性は？

全身麻酔を伴う手術のため、麻酔薬に対するアレルギー反応の事故など、必ずリスクは伴います。また高齢になるほど手術の負担が大きくなるのは確かです。その点を踏まえて、動物の体調をよく観察して獣医師に相談しましょう。

発情期のストレスはなくなる？

メスの場合は生理と発情期のストレスがなく、散歩時にオスが寄りつかなくなり、オスの場合も同様です。また、猫の場合、発情期特有の鳴き声が減りますが、個体差もあることは認識しておいてください。

肥満になりやすくなる？

確かに肥満になりやすいようです。活動性が低下することによる運動不足が原因といわれています。また三大欲望（食欲・性欲・睡眠欲）の一つがなくなることで、他の欲求が増大するともいわれています。肥満予防のため、適切な運動と食事管理に気を配りましょう。

手術すると性格が変わる？

去勢すると、競争的行動や性的攻撃行動は減ります。しかし、その動物が持つ根本的な性格はあまり変わらないようです。家庭で飼いやすくなるのもいわれていますが、過度の期待はやめましょう。

動物愛護ボランティア意見交換会をのぞいてみませんか？

犬が好き！ねこが好き！少しでもボランティア活動に興味のある方。平成20年3月に公表した「静岡県動物愛護管理推進計画」の説明とボランティアの活動紹介、ボランティア意見交換会を行います。

開催日 10月7日（火）午後1時30分～

開催場所 藤枝総合庁舎別館2階第1会議室（藤枝市瀬戸新屋362-1）

お申し込み先

・本庁町民課 電話（56）2222 総合支所住民課 電話（58）7070

締め切り 9月26日（金）

ご注意 当日の出席がそのままボランティア活動への参加申込みにはなりませんので、安心してご参加ください。

問い合わせ 静岡県中部保健所衛生業務課 電話054（644）9283